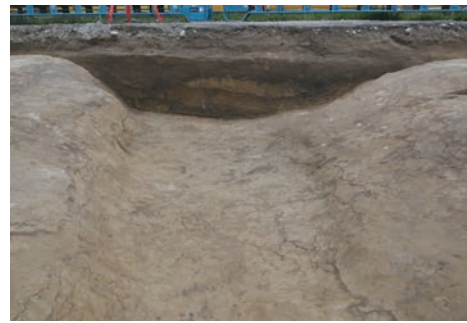
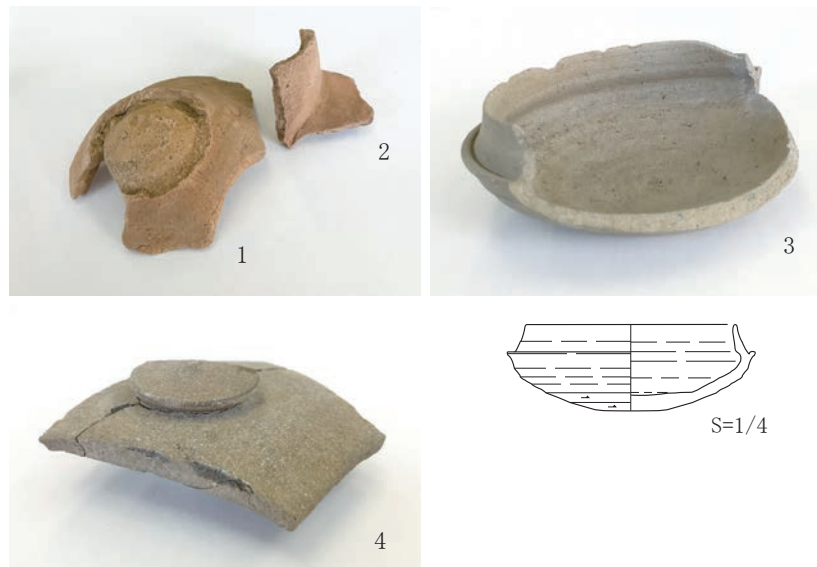


南山町遺跡 20A 区・20B 区の主な出土遺物

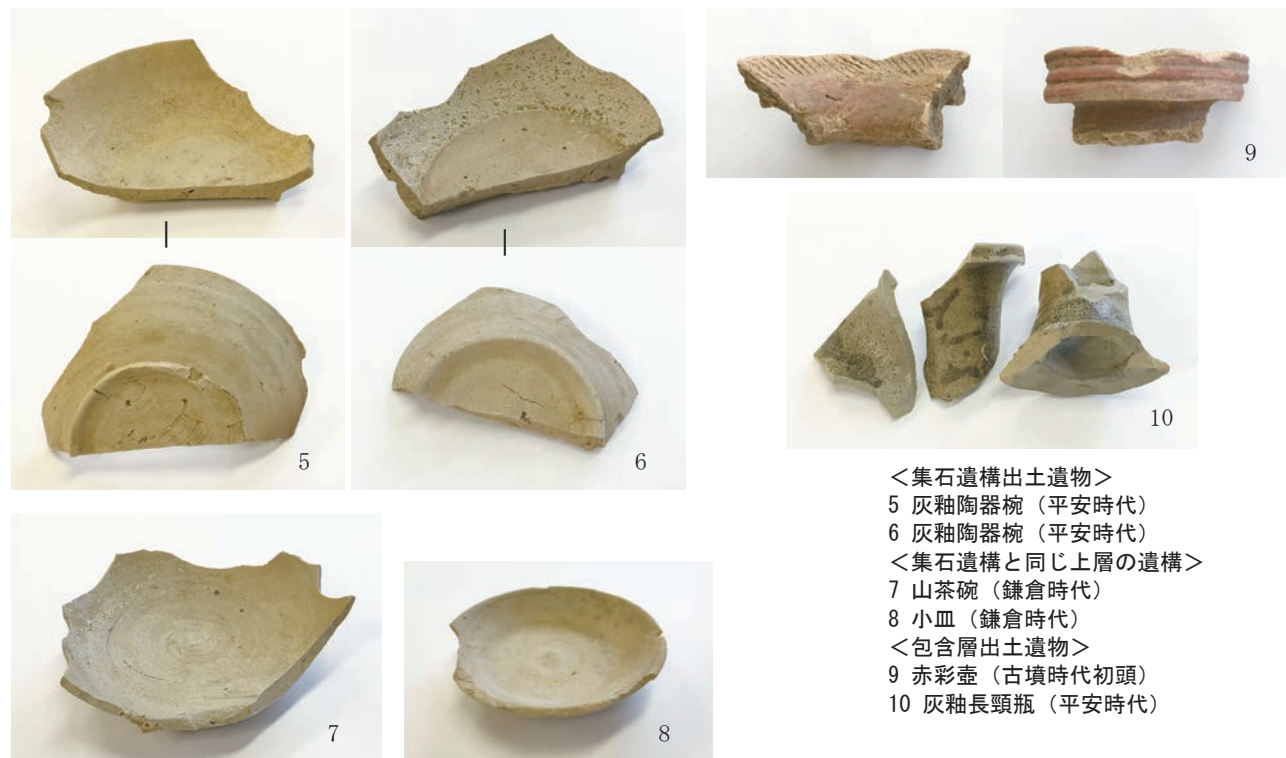
大溝 054SD 南側断面（20A 区）



- <最下層出土遺物>
- 1, 2 古墳時代土師器（台付甕, 壺）
- <下層出土遺物>
- 3 須恵器坏身
- <上層出土遺物>
- 4 須恵器蓋



調査地点西半部分（20B 区 北から撮影）



- <集石遺構出土遺物>
- 5 灰釉陶器碗（平安時代）
- 6 灰釉陶器碗（平安時代）
- <集石遺構と同じ上層の遺構>
- 7 山茶碗（鎌倉時代）
- 8 小皿（鎌倉時代）
- <包含層出土遺物>
- 9 赤彩壺（古墳時代初頭）
- 10 灰釉長頸瓶（平安時代）

南山町遺跡

発掘調査 地元説明会資料

開催：令和2年10月11日（日）10:00～



遺跡遠景（北西方向から）/ 撮影 2020.8.28.

愛知県江南市に所在する南山町遺跡では、国道 155 号改良工事に伴う事前調査として 7 月～10 月の期間で発掘調査を行いました。

遺跡は五条川の右岸の標高約 16m の自然堤防上に立地しています。ここは犬山扇状地の扇央にあたり、すでに滅失したものも含め数多くの古墳の存在が知られてきました。南山町遺跡のすぐ北側の富士塚古墳(5 世紀末～6 世紀初?)は後世に改変が加えられたとはいえ、高まりとして実際に目にする事ができます。また五条川の対岸には神福神社古墳（全長約 50m, 前方後円墳）や公園が整備されている曾本二子山古墳（全長約 60m, 前方後円墳, 6 世紀）などが残されています。

対岸にあたる大口町・白木遺跡では、昨年度の発掘調査ではカマドの付いた竪穴建物跡と掘立柱建物跡、「人」と刻書された須恵器などがみつけられました。近辺には飛鳥～奈良時代の集落の広がりも想定されます。



南山町遺跡周辺の遺跡（地図縮尺 1/25,000）



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

調査支援



橋本技術株式会社 愛知営業所

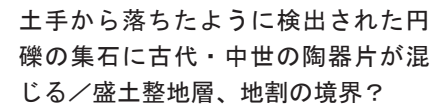
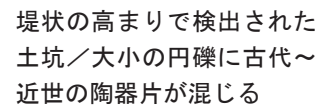
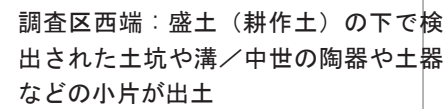
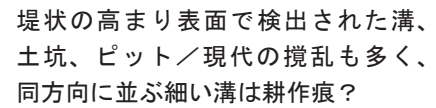
〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802の24
TEL 0567 - 67 - 4163 【調査課】

HP <http://www.maibun.com/>
Twitter https://twitter.com/aichi_maibun
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>

〒448-0047 愛知県刈谷市高津波町3
TEL 0566 - 28 - 0880
<http://hashimoto-gijyutu.com/>

西側（20B区）は埋没した谷状の自然地形があり、水路跡と想定される古墳時代の溝、整形

堤状の遺構が北に延びる先には富士塚古墳があり、大畔や道として利用されていたかもしれません。



南山町遺跡（20A・B）主要遺構配置図（上図；縮尺 1/400）と 断面模式図（下図；縦方向縮尺 1/50）